

国民健康保険・板橋区国民健康保険運営協議会とは

1 国民健康保険（国保）について

国保は、加入者が日ごろからお金（保険料）を出し合うことによって、病院にかかるときの医療費などをみなさんで負担して助け合う、公的医療保険制度の一つです。

職場の健康保険や後期高齢者医療制度に加入している方、生活保護を受けている方を除き、すべての方が国保に加入することになっています（国民皆保険制度）。

2 国保の運営について

平成30年4月からみなさんが住んでいる東京都と身近な存在である板橋区が保険者となり、共同運営を行っています。

（1）東京都の役割

- ① 国保財政の責任主体を担い、安定的な財政運営を図ること
- ② 国保の運営方針を定め、区市町村の事務を効率化すること

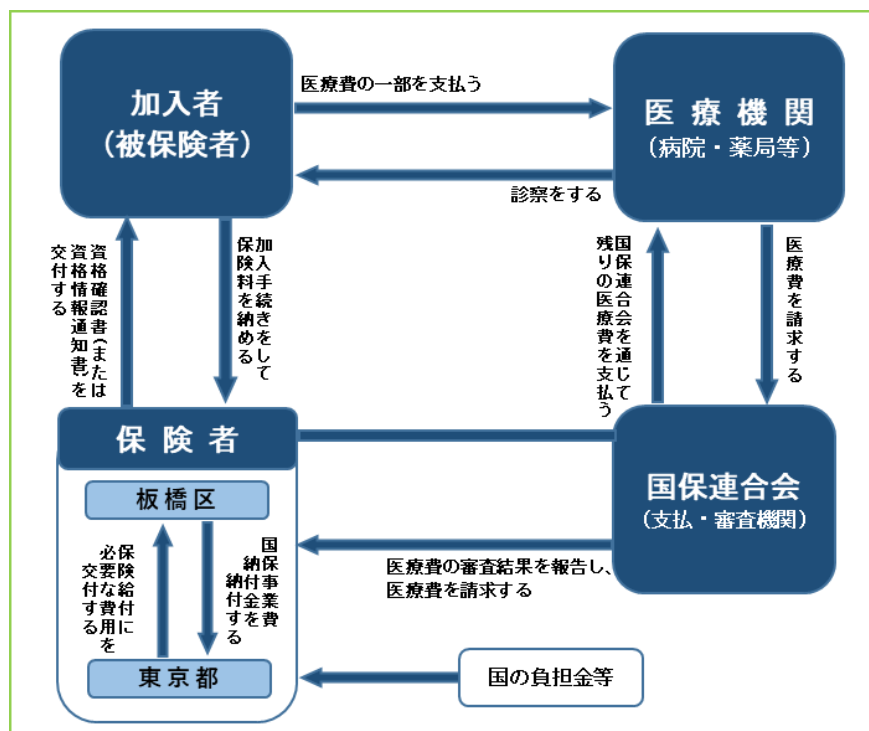
※ 板橋区は、みなさんが納める保険料を納付金として東京都に納めます。

（2）板橋区の役割

- ① 保険の加入・脱退手続き、保険料の徴収
- ② 医療費や出産一時金などの給付、各種申請や届出

※ 東京都から交付金を受け、給付を行います。

【イメージ図】



3 板橋区国民健康保険運営協議会について

国民健康保険法に基づき、国民健康保険事業の運営に関する重要事項※を審議するため、条例設置された区長の附属機関です。区長の諮問に対して、諮問事項に関して意見を述べるすることができます。

※ 重要事項：一部負担金の負担割合、保険料（税）の賦課方式、保険給付の種類及び内容の変更、保健事業の実施大綱の策定など

附属機関として設置している趣旨は、議会以外の場において、国民健康保険事業に関与することにより、それぞれの立場の利害を調整して事業運営を円滑に進めるところにあります。

委員は、被保険者を代表する委員 4 名、保険医または保険薬剤師を代表する委員 4 名、公益を代表する委員 4 名、被用者保険等保険者を代表する委員 2 名の 14 名から構成されており、区長が任命します。

委員の任期は、原則 3 年間です。ただし、補欠の委員任期は前任者の残任期間とします。

委員は、非常勤の特別職に属する地方公務員となるため、人事委員会または公平委員会の委員との兼職は禁止されています。